

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	認知症対応型施設の職員として、その役割を担うための知識、技術をよりレベルアップしたい。経験年数や研修受講歴に差があるため、全体のスキルアップを求めたい。	認知症介護を中心とした職場内研修(勉強会)や自主研修、自己研鑽の場を企画実行する。	時期や企画の内容を練りながら、年間計画として定期的に関催する。認知症高齢者を理解することに努め理念や尊厳、変遷や制度など幅広い内容で構成する(県実践者研修に沿う)。また、現状の介護の課題検討や意見交換も行いながら双方向の勉強会にする。	12ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。